

前橋市手をつなぐ育成会 令和2年度 総会報告

- ①令和元年度事業報告
- ②令和元年度会計決算報告
- ③役員改選
- ④令和2年度事業計画
- ⑤令和2年度予算

前橋市手をつなぐ育成会 令和2年度 基本方針

本会が支援対象の中心としている知的な障害のある方々は、自分の気持ちを表現し伝えることが苦手という方が少なくありません。そのため、周囲で支援する立場の者が、わかりやすく情報を本人に伝えるとともに、生活のスタイルや方向性等の選択を支援しながら、丁寧に本人の意思を引き出し受けとめていく必要があります。そして、その本人のニーズに合わせて適量の支援を行い、地域の中で共に生きる力を支え育んでいくこと、また本人の想いに寄り添いながら、安心して暮らし続けることができる地域を整えていくこと、このことが本会の活動の基本となるものであります。

ノーマライゼーション・共生社会などの福祉理念は、概ね社会の中に浸透してきたように思えます。国の法制度も重度障害のある人や虐待児童を支える仕組み等も徐々に整備が進み、地域の中での暮らしを支える仕組みは、制度的には少しずつ前進してきたように思われます。

しかしながら現実面では、制度に即した社会資源整備はまだ不十分で、地域間の格差も大きく、特にこれからの地域生活支援の中心的役割を期待されている「地域生活支援拠点」等の整備も、前橋市において今年度中には設置される予定となっていますが、現状として、期待していた機能が、使いやすく充実したものとして整備されるのか、依然として不透明で不安があります。

また、以前から育成会活動の最大のテーマであった「親なき後」という課題は、超高齢化社会を迎えて年々大きくなってきています。現在世界中を席卷している新型コロナウイルス感染拡大による非常事態の中、保護者が感染すればその日から「親なき後」と同じ状態は突然に始まります。その際の対処方法は十分には準備しきれず、また関係機関の突然の長期閉鎖等についても、常に覚悟していなければならない、といった不安を多くの家庭が感じています。こうした不測の事態に対する環境や社会資源の整備不足という課題は、今、全ての世代において実感されていると思われます。

このような厳しい状況の中、本会は前橋市・前橋市教育委員会ともしっかりと連携して、不足する社会資源の整備とともに、本人による意思決定支援を重視した支援体制の確立が、人としてのあたりまえの権利を護る上で不可欠です。そのことを市や市内関係機関に明確に伝えて、その整備に向けて協働していくことが、当事者団体としての使命だと考えております。そしてその責任を重く受け止め、しっかりとした役割を担っていく決意を持って活動していきます。

障害者基本法の「すべて障害者は、個人の尊厳が重んぜられ、その尊厳にふさわしい生活を保障される権利を有する」というあたりまえの基本理念が、現実のものとなるよう今年度も活動を続けてまいります。

令和元年度 事業報告

(1) 啓発事業

- ① 会報の発行
4/9, 7/8, 12/3, 2/4 計4回発行
全会員に配布及び関係機関に寄贈
- ② 福祉パレードへの参加 9/10(火)
県庁広場、市役所前での集会
徒歩で<市役所>と<国道17号>の往復をパレード
<けやきウォーク>にて啓発用ポケットティッシュの配布
11名参加(事務局)
- ③ インターネットの活用
ホームページで本会の紹介

(2) 研修事業

- ① 大会への参加
 - ・群馬県手をつなぐ育成会大会
7/27(土) 藤岡市(みかぼみらい館)
11名参加(事務局)
 - ・手をつなぐ育成会関東甲信越大会
11/9(金) さいたま市(埼玉会館)
2名参加(事務局)
- ② 研修会「親なきあとを考える」(おしゃべり交流会拡大版)(当会主催)
10/8(火) 福祉会館 第1・2・3会議室
あんしんノートの配付、紹介及び書き方の説明
前橋市の相談支援体制等
131名参加
- ③ 保護者研修会(群馬県手をつなぐ育成会主催)
11/26(火) 群馬県社会福祉総合センター 8階ホール
受付等、手伝いに 8名参加(事務局)
- ④ 先進地見学会(当会主催)
11/29(金) 北信圏域障害者総合相談支援センター「ぱれっと」(長野県中野市)
11名参加

(3) 委託事業

- ① 完全自立宣言講座(料理教室)
11/24(日) 前橋市総合福祉会館
メニュー:チキンかつ、コールスロー、コーンチャウダー、パインゼリー
26名参加(本人、家族、支援者)
- ② ゆうあいハイキング
11/17(日) 富岡・甘楽方面
県立自然史博物館、楽山園、こんにやくパーク
43名参加(本人、家族、支援者)

(4) 学校関係活動助成

- ①前橋市内特別支援学級・特別支援学校児童・生徒作品展
1/30(木)～2/3(月) 前橋元気プラザ21
- ②施設見学会(前教研特別支援教育部会、特別支援教育担任会共催)
8/2(金) 群馬県立高崎高等特別支援学校

(5) 組織・団体の活動助成(保護者会・クラブ等)

申請された各会ごとの会員数や活動内容により助成

わの会、水泳クラブ、フライングディスククラブ
群馬ゆうあい陸上クラブ、からたち学級
前橋特別支援学校同窓会
通所施設の保護者会及び家族会
作業所及びデイサービスの保護者会

(6) 陳情行動

前橋市長及び障害福祉課長に「質問及び要望書」を提出

- ①24時間365日対応の地域生活支援拠点等の早期整備
- ②グループホームの充実
- ③ヘルパーステーション・サービスステーション等の拡充と利用補助
- ④障害者虐待防止法の啓発
- ⑤非常時における避難等の対応方針の整備
- ⑥各事業所による健康管理及び重度障害者の入院受け入れ
- ⑦障害者福祉に従事する関係者の処遇改善

(7) 地域生活支援事業

- ①保護者会等交流会(8/28、12/13) 前橋市総合福祉会館
各施設・学校・団体の代表者等による情報提供や意見交換

- ②おしゃべり交流会

毎月第2火曜日(8月は無し)

前橋市総合福祉会館 子育て研修室

テーマを設けて勉強及び交流、情報の交換

発作やパニックのときどうしてますか、お医者さんとのつきあいかた
夏休みおすすめスポット、ぐんまちゃんあんしんノートを書こう
将来のお金のこと、地域生活拠点について

- ③ボウリング大会(群馬県知的障害者生活サポート協会から助成)

12/15(日) エメラルドボウル

19名参加(本人、家族、支援者)

令和元年度 会計決算報告

1. 収入の部

(単位/円)

項目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	備考
繰越金	137,106	137,106	前年度より
会費	1,300,000	1,223,155	普通会員517人、賛助会員491人、PTA団体会費44校
補助金等	680,000	680,000	市補助金48万、県育成会委託事業18万、県サポート協会2万
雑収入	1,000	35,603	行事参加費、利子等
計	2,118,106	2,075,864	

2. 支出の部

(単位/円)

項目	令和元年度予算額	令和元年度決算額	備考
会報発行	180,000	217,916	年4回(印刷・郵送等)
施設見学会費	100,000	65,470	前教研・特担会研修の貸切バス代
県育成会委託事業	180,000	219,315	料理教室、ゆうあいハイキング、親なきあとを考える研修会
保護者会等活動助成	270,000	246,000	光明園、たんぼぼ学園、アシト前橋、まほろ、サニーズマーケット らいず、なかま、第1・2・3作業所、デイサービスセンター
学校関係活動助成	80,000	80,000	特別支援学級・特別支援学校作品展協賛金
団体組織の活動助成	230,000	210,000	前特同窓会、からたち学級、わの会 水泳クラブ、陸上クラブ、フライングディスククラブ
研修費	130,000	126,585	研修会、県大会、関プロ大会の参加費・交通費等
地域生活支援事業	100,000	51,572	おしゃべり会、保護者会等交流会、ボウリング大会
会議費	90,000	99,063	事務局員会議等
需用費	100,000	82,907	散歩の駆使用料、封筒、コピー用紙等
通信費	60,000	48,377	切手代、インターネット接続料、携帯電話利用料
交通費	260,000	245,900	事務局員の行動旅費
備品購入費	10,000	1,748	散歩の駆合鍵代
負担金	280,000	278,000	県育成会、社協、福祉パレード、相談員連協会費
雑費	7,000	41,475	慶弔費等
予備費	1,106	0	
特別会計繰入金支出	40,000	40,000	印刷機購入代金令和元年度返済分
計	2,118,106	2,054,328	

3. 差引残高(次年度へ繰り越し)

収入 2,075,864 - 支出 2,054,328 = 差引残高 21,536

令和元年度 特別会計決算報告

1. 収入の部 (単位/円)

項目	金額	備考
繰越金	226,559	地域生活支援事業準備金
本会計繰入金収入	40,000	印刷機購入代金令和元年度返済分
雑収入	4,002	先進地見学会(長野県中野市)外部参加費、利子等
計	270,561	

2. 支出の部 (単位/円)

項目	金額	備考
地域生活支援事業	48,425	先進地見学会(長野県中野市)経費
計	48,425	


3. 差引残高(次年度へ繰り越し)


収入 270,561 - 支出 48,425 = 差引残高 222,136


会計監査報告

会計監査の結果、諸帳簿等正確に処理されており、相違ないことを認めます。

令和2年4月25日

監査 飯島琴美 

監査 富永美喜子 

監査 黒岩全代 

令和2年度 前橋市手をつなぐ育成会理事名簿

		施設名	施設長			保護者会名	代表
入 所 ・ 通 所 施 設 長	1	赤城野荘	深津了寛	入 所 ・ 通 所 施 設 保 護 者 会 長 ・ P T A 会 長	1	赤城野荘保護者会	佐々木宏
	2	たんぼぼホーム	村山良明		2	ルンビニー苑保護者会	高岸 哲
	3	ルンビニー苑	青木利治		3	光明園保護者会	藤掛祥子
	4	光明園	箱田光泰		4	たんぼぼ学園保護者会	新井公美
	5	たんぼぼ学園	菊池賢二		5	まほろ家族会	中川理香
	6	まほろ	茂木厚志		6	らいず家族会	高山由貴
	7	らいず	中島 穰		7	サニーズマーケット家族会	田口 香
	8	サニーズマーケット	石倉敦也		8	こがね荘保護者会	堀内浅美
	9	こがね荘	更科達志		9	アシスト前橋保護者会	清水一美
	10	アシスト前橋	白石 茂		10	とらっぱ保護者会	戸所啓子
	11	とも	亀田好子		11	びいす保護者会	中島千弘
	12	ワークハウスドリーム	中原 泉		12	ゆずりは後援会	槇田秀行
	13	とらっぱ	赤見正子		13	菜の花後援会	渡辺尚美
	14	びいす	鬼形朋宏		14	あい家族会	田部井善江
	15	わーくはうすすてっぷ	坂柳幸子		15	なかま家族会	埴田江里
	16	ゆずりは	長倉幸喜		16	レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場保護者会	福島えつ子
	17	菜の花	小淵久徳		17	心身障デイサービス保護者会	関口純子
	18	こせら	諸岡るり子		18	第一福祉作業所保護者会	浅岡セン
	19	なかま	石関禎子		19	第二福祉作業所保護者会	中村初枝
	20	すずしろ	角田登代美		20	第三福祉作業所保護者会	井上潤子
	21	レオナルド・ダ・ヴィンチ牧場	山口裕通		21	大胡福祉作業所保護者会	三川 明
	22	はーとわーく	山本知子		22	前橋特別支援学校PTA	武井綾子
	23	ゆーハウス前橋	高橋敏子		23	群大附属特別支援学校PTA	織茂陽子
	24	心身障デイサービス	金井一憲		24	前橋高等特別支援学校PTA	小林立志
25	第一福祉作業所	石井順子		団 体 名			
26	第二福祉作業所	真下 泰	ハ	1	わの会	高梨珪子	
27	第三福祉作業所	廣田信哉		2	ODORU-KAI	高梨京子	
28	大胡福祉作業所	山口 弘		3	水泳クラブ	藤崎クルミ	
29	粕川福祉作業所	木村雅幸		4	フライングディスククラブ	大塚哲子	
30	宮城福祉作業所	須藤陽子		5	群馬ゆうあい陸上クラブ	石川 誠	
31	富士見福祉作業所	横川麻紀		6	手をつなぐ親の会	石坂英子	
				7	からたち学級	小川優子	
				8	放課後充実委員会	高野辺由美子	
学校代表理事							
学 校 長	1	前橋特別支援学校長	武井暁子	学 校 長 ・ 教 諭	5	校長会特別支援教育担当校長(第一中)	鈴木雅浩
	2	群大附属特別支援学校長	藤森健太郎		6	校長会特別支援教育担当校長(第七中)	飯塚敏雄
	3	校長会特別支援教育担当校長(清里小)	福田隆一		7	特別支援教育担任会会長(勝山小)	山田義徳
	4	校長会特別支援教育担当校長(大室小)	向井道子		8	特別支援教育担任会会長(みずき中)	金子 登

令和2年度 市内協力学校長

	学校名	校長		学校名	校長		
市	1	桃井小	北爪喜久雄	市内小学校長	36	筑井小	関口一男
	2	中川小	佐藤 健		37	大胡小	齊木一敏
	3	敷島小	寺島 忠		38	大胡東小	渡辺泰弘
	4	城南小	多賀谷雅之		39	滝窪小	大塚朋子
	5	城東小	古谷哲宏		40	宮城小	藤井麻里
	6	若宮小	三好玲子		41	粕川小	竹澤昭吾
	7	天川小	渡邊隆志		42	月田小	持木 豊
	8	岩神小	小林克宏		43	原小	西田知子
	9	広瀬小	金井英男		44	時沢小	永井加津美
	10	山王小	大澤 正		45	石井小	青木美紀夫
	11	わかば小	都所敬尚		46	白川小	小林秀之
	12	上川淵小	石原隆志				
市内小学校長	13	下川淵小	松村澄人	市内中学校長	1	第一中	鈴木雅浩
	14	桂萱小	古屋秀登		2	みずき中	村島剣次
	15	桃木小	高橋 亨		3	第三中	清水 淳
	16	桂萱東小	小林 悟		4	第五中	上原広行
	17	桃瀬小	折田一人		5	第六中	林 恭祐
	18	芳賀小	松本敏樹		6	第七中	飯塚敏雄
	19	総社小	福岡 修		7	春日中	荻野雅志
	20	勝山小	吉野忠義		8	広瀬中	川上辰幸
	21	元総社小	早乙女俊夫		9	桂萱中	本間淳彦
	22	元総社南小	山崎裕美子		10	芳賀中	吉原秀人
	23	元総社北小	石関和夫		11	元総社中	小池千秋
	24	東 小	間々田 博		12	東中	庭山まゆみ
	25	大利根小	橋爪浩子		13	箱田中	神保 衛
	26	新田小	木部 悟		14	南橋中	新井 寿
	27	細井小	笠原晶子		15	鎌倉中	中村 亨
	28	桃川小	生方嘉彦		16	木瀬中	相原吉次
	29	荒牧小	福島利行		17	荒砥中	涌沢雅子
	30	清里小	福田隆一		18	大胡中	下平俊彦
	31	永明小	反町恭子		19	宮城中	山口行輝
	32	駒形小	高木恵一		20	粕川中	金井幸光
	33	荒子小	岩崎博文		21	富士見中	奥田尚之
	34	大室小	向井道子				
35	二之宮小	柳澤 仁					

「前橋市手をつなぐ育成会」への思い

令和2年度の手をつなぐ育成会の会長に推薦を頂いた塩崎政江です。

教員として障害のあるお子さんに関わらせていただき、校長になってからも手をつなぐ育成会にお世話になり、さらに教育委員会教育長として本会には大変お世話になりました。このたび原澤会長さんをご退任なさるとお聞きし、できることがあればお手伝いしたいと思いました。原澤先生や岡村先生、佐藤先生のお力をお借りしながら、皆さんと一緒に障害のあるご本人方のために力を注ぎたいと思っております。ご賛同いただける方はよろしく願いいたします。

塩崎 政江

推薦の言葉

先日、塩崎前教育長にお会いした時に、新型コロナウイルス感染症への対応の話になりました。特別支援学校、特別支援学級の多くの子供たちは、どうしているだろうか。コロナ禍だけではなく、この障害のある子供たちは健常の多くの子供たちへの対応の陰に埋もれてしまいがちである、と語りながら、「この現実の中で自分たちにできることを模索し続け、実践していかなければならないですね。」とお話されていきました。

塩崎さんは小学校教諭として仕事に就かれ、その後、特別支援学校、特別支援学級の担任等を通して、障害のある子供たちの指導・支援に当たられました。当時この育成会の立役者であった岡村先生に教えを請いながら宿泊訓練を企画するなど幅広い活動をされていきました。

その後、幼稚園の教諭、群馬県の指導主事、県幼児教育センター・前橋市幼児教育センター所長など、幼児教育の専門家として全県的に活躍されました。また、児童文化センター館長として様々な子供たちの学びの場を広げることに貢献しました。こうした多様な教育関係の経歴と識見を嘱望され、前橋市の教育長としてこの3月まで勤められました。

特別支援教育の実践の中で培われた障害のある子供たちと保護者の皆さんへの理解と実践的な指導力、そして教育委員会行政における特別支援教育のあり方に通暁された塩崎さんをお迎えし、「前橋市手をつなぐ育成会」がますます発展していくことを期待し、推薦いたします。

令和元年度前橋市手をつなぐ育成会 会長 原澤 正光
同 顧問 佐藤 博之

令和2年度 前橋市手をつなぐ育成会役員名簿

会 長	塩崎 政江	前 前橋市教育委員会教育長
副会長	武井 暁子	前橋市立前橋特別支援学校長
〃	向井 道子	特別支援教育担当校長
〃	前川 知三	星の里管理者・放課後充実委員会役員
〃	関口 純子	心身障害者デイサービスセンター保護者
〃	高橋まさ子	ゆずりは保護者
〃	笠原 秀樹	ワークハウストリーム保護者
〃	中山さち江	ぴいす保護者
書 記	飯塚記弘	前橋市立前橋特別支援学校教諭
〃	丸山千恵子	アシスト前橋保護者
〃	大島 佳織	麦わら屋保護者
会 計	池田由美子	前橋市立前橋特別支援学校教諭
〃	廣瀬 明美	とらっぱ保護者
〃	阿部 尚子	なかま保護者
事務局	岡村 昭義	散歩の駅代表
〃	高山 由貴	らいず保護者
〃	柳澤 美樹	サニーズマーケット保護者
〃	赤石ヤス子	らいず保護者
〃	都丸 利子	恵の園支援者

顧 問	太田 隆也	元 会長
〃	佐藤 博之	元 前橋市教育委員会教育長
〃	原澤 正光	前 会長

会計監査	富永美喜子	あすなろ荘保護者
〃	飯島 琴美	かけはし職員
〃	黒岩 全代	まほろ保護者

令和2年度 事業計画

はじめに

今年度は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、全国手をつなぐ育成会連合会及び群馬県手をつなぐ育成会主催の大会、研修会は年内はほぼ中止が決定しました。本会の事業についても、今後の状況により中止や延期といった対応を判断していくこととなりますので、あらかじめご了承下さい。

(1) 啓発事業

①会報の発行

年間3～4回を目標に発行

全会員及び関係機関に配布

各学校・施設の紹介や行政の動向等情報をお伝えします。

②インターネットの活用

ホームページ等にて本会の紹介や、障害のある方への教育・福祉等の様々な支援体制の現状等について、情報発信や情報交換を行います。

(ホームページアドレス)

[http:// m-teotunagu.moo.jp/](http://m-teotunagu.moo.jp/)

(メールアドレス)

info@m-teotunagu.moo.jp

※本年度の福祉パレードは中止となりました

(2) 研修事業

① 研修会等への参加

※ 年内の、全国連合会及び県主催の研修等については、現時点でほぼ中止が決定。年明けの開催については現時点では未定

② 障害福祉先進地域の施設見学等

※年度内に実際に開催できるかは、今後の状況で判断

③ インターネットを利用した、会員向け研修開催

※手をつなぐ育成会 県大会・関東甲信越大会・全国大会は中止

※群馬県手をつなぐ育成会主催保護者研修会等も中止

(3) 委託事業

県の「レクリエーション活動等推進事業」を受託して行います。

今年度受託事業

- ・ ハイキング(ゆうあいハイキング)
- ・ 料理教室
- ・ 家族教室(あんしんノート勉強会)

※年度内に実際に開催できるかは、今後の状況で判断

(4) 団体等の活動費助成

①保護者会等活動助成・団体組織活動助成

本人たちの余暇活動(休日や夜間)や、各施設の保護者会・家族会活動の充実を目的に助成します。

②学校関係活動助成

前教研特別支援教育部会、特別支援学級担任会の活動助成
市内特別支援学級・特別支援学校作品展等への開催助成

(5) 関係機関・団体との連携、陳情行動

関係機関、自立支援協議会、施設・作業所保護者会等との連携を強化し、意見交換や課題分析、ニーズの集約などを行い、必要に応じて市に対して意見陳情や政策提言を行っていきます。

(6) 地域生活支援事業

①保護者会等交流会

施設・作業所保護者会、特別支援学校PTA等の交流会を開催します。

年2回(11月・3月)開催予定

※今後の状況を見て開催を判断

②権利擁護や相談支援体制を整備します。

③本人部会結成及び活動の支援を行います。

④群馬県知的障害児者生活サポート協会総合補償制度への加入を促進します。

⑤地域生活勉強会

地域生活を支えていくための社会資源の整備や制度づくりなどについて学び、意見交換を行います。

⑥おしゃべり交流会の開催

前橋市総合福祉会館にて月1回開催(概ね第2火曜日)

テーマを決めて勉強及び自由に話せる時間を持ちます。

(ア) 9月までは休止、それ以降は状況を見て再開時期を判断

(イ) 現在、LINEグループを利用して限定的に開催

⑦本人レクリエーション(ボウリング大会等)

県生活サポート協会の支部支援活動助成を申請して実施します。

※ 年度内に実際に開催できるかは、今後の状況で判断

※

(7) その他

令和4年度 群馬県手をつなぐ育成会大会(前橋大会)への準備

令和4年度に、本会が開催担当となっていますので、準備を進めていきます。

令和2年度 会計予算

1. 収入の部 (単位/円)

	項目	令和2年度予算額	備考
	繰越金	21,536	前年度より
	会費	1,250,000	普通、賛助、PTA団体会費
	補助金等	680,000	市補助金48万、県育成会委託事業18万、県サポート協会2万
	雑収入	1,000	利子等
	特別会計繰入金収入	200,000	運転資金不足分
	計	2,152,536	

2. 支出の部 (単位/円)

	項目	令和2年度予算額	備考
事業費	会報発行	180,000	年3回(印刷、郵送等)
	委託事業費	180,000	料理教室、ゆうあいハイキング、あんしんノート普及研修会
	保護者会等活動助成	260,000	申請により助成
	学校関係活動助成	130,000	前教研・特担会研修費補助 特別支援学級・特別支援学校作品展協賛金
	団体組織活動助成	220,000	申請により助成
	研修費	30,000	研修会・県大会の参加費・交通費等 関ブロ・全国大会が中止となり減額
	地域生活支援事業	60,000	地域生活勉強会等
事務費	会議費	100,000	事務局員会議等
	需用費	100,000	散歩の駆使用料、封筒、コピー用紙、トナー、インク等
	通信費	80,000	切手、インターネット接続料、携帯電話利用料
	交通費	250,000	事務局員の行動旅費
	備品購入費	15,000	備品、修理費
その他	負担金	277,000	県育成会、社協、福祉パレード
	雑費	7,000	慶弔費等
	予備費	23,536	
	特別会計繰入金支出	240,000	印刷機購入代金令和2年度返済分
	計	2,152,536	

令和2年度 特別会計予算

1. 収入の部 (単位/円)

	項目	金額	備考
	繰越金	222,136	地域生活支援事業等準備金
	本会計繰入金収入	40,000	印刷機購入代金令和2年度返済分
	計	262,136	

2. 支出の部 (単位/円)

	項目	金額	備考
	本会計繰入金支出	200,000	令和2年度運転資金不足分
	計	200,000	